

学位プログラム：環境エネルギー工学 カリキュラムマップ（工学研究科環境エネルギー工学専攻）

ディプロマ・ポリシーの学習目標

教育目標	専門性 の 高い 高度な 学位 取得 に 関 する	高度な 研究 能力 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	博士前期課程		博士後期課程									
専攻 分野 の 特色 と 高 い 専門 性 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	1年		2年		1年		2年		3年			
専攻 分野 の 特色 と 高 い 専門 性 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	高度な 研究 能力 を 有 す る	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
学習目標A (前期課程)環境エネルギー問題の背景と本質を洞察する幅広い物理と高い数理能力を身につけている。 (後期課程)環境エネルギー問題を基礎的に捉え、本質を洞察する幅広い物理と高い数理能力を身につけている。	○	○	○	共通 Global Threats and Sustainable Energy business Energy politics イノベーションデザイン実践 エネルギー系 放射線化学と核子炉化学				エネルギー電子工学特論Ⅰ エネルギー電子工学特論Ⅱ							
学習目標B (前期課程)環境エネルギー分野における高度な専門知識と技能を修得している。 (後期課程)環境エネルギー分野における基礎的な専門知識と技能を修得している。	○	○	○	人間系 共生都市環境論 共生空間形成論 システム系 産業環境マネジメント論 自然・社会生態システム特論 需要端エネルギーシステム工学 自然系 環境動態学特論 生物環境工学特論 共通 フューチャー・デザイン 共通 Frontiers of Sustainability Science				人間系 共生環境デザイン論 環境情報システム工学 システム系 環境計画論 地球代謝循環学 自然系 環境モデリング学特論 生物資源工学特論 環境材料循環プロセス学 システム系 エネルギーマネジメント特論 共通 Advanced Environmental Engineering				エネルギー系 レーザーエネルギー工学 福祉工学 先端医療工学 原子力系 原子炉・核融合炉工学 システムデザイン学 原子力実習 原子力工学セミナー エネルギー系 核融合物理学 原子力系 原子炉物理学 原子炉燃料・材料 Nuclear fuel cycle and Waste Management Decommissioning of nuclear facilities and preparedness of nuclear emergency			
学習目標C (前期課程)母国語に加えて英語で修士論文研究の内容・成果を発表し、それに関する討論を行う能力を修得している。 (後期課程)修士論文研究の内容・成果を発表し、それに関する専門的に高度な討論を行う能力、国際的なコミュニケーション能力を有している。	○	○	○	工学英語Ⅰ ゼミナールⅠ				工学英語Ⅱ ゼミナールⅡ				エネルギー電子工学ゼミナールⅢ エネルギー電子工学ゼミナールⅣ			
学習目標D (前期課程)修士論文研究として取り込む先端および学際融合分野の知識と技能を修得している。 (後期課程)修士論文研究として取り込む先端および学際融合分野の知識と技能を修得している。	○	○	○	研究指導				研究指導				研究指導			
学習目標E (前期課程)研究開発を遂行するための論理的思考力、専門分野の専門家と連携したコミュニケーション力及び協働による問題解決力を修得している。 (後期課程)論理的、実践的かつ独創的な思考力を有し、社会ニーズに応じた研究課題の発掘・提案能力、研究企画・推進力、問題解決力、新規・発想能力を併せ持つ実践的研究能力を有している。新規性、独創性、学術的ならびに社会的意義を有する修士論文を作成する能力を有している。	○	○	○	環境工学ゼミナールⅠ 環境工学ゼミナールⅡ 先端特別講義 研究開発計画法 環境エネルギー工学研修				環境工学ゼミナールⅢ 環境工学ゼミナールⅣ 環境エネルギー工学特別研修							
学習目標F (前期課程)研究開発を遂行するための論理的思考力、専門分野の専門家と連携したコミュニケーション力及び協働による問題解決力を修得している。 (後期課程)論理的、実践的かつ独創的な思考力を有し、社会ニーズに応じた研究課題の発掘・提案能力、研究企画・推進力、問題解決力、新規・発想能力を併せ持つ実践的研究能力を有している。新規性、独創性、学術的ならびに社会的意義を有する修士論文を作成する能力を有している。	○	○	○	環境工学コース エネルギー電子工学コース 2コース共通				研究指導							